

平成24年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年4月27日

上場会社名 株式会社ディーバ
 コード番号 3836 URL <http://www.diva.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務担当
 四半期報告書提出予定日 平成24年5月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 森川 徹治
 (氏名) 春日 尚義

TEL 03-5782-8600

上場取引所 大

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年6月期第3四半期の連結業績(平成23年7月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年6月期第3四半期	2,942	29.0	322	382.2	298	450.8	152	—
23年6月期第3四半期	2,281	△1.6	66	27.6	54	33.6	△22	—

(注) 包括利益 24年6月期第3四半期 153百万円 (—%) 23年6月期第3四半期 △23百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年6月期第3四半期	65.15	—
23年6月期第3四半期	△9.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年6月期第3四半期	3,258	1,494	45.9
23年6月期	2,836	1,352	47.7

(参考) 自己資本 24年6月期第3四半期 1,494百万円 23年6月期 1,352百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年6月期	—	0.00	—	5.00	5.00
24年6月期	—	0.00	—		
24年6月期(予想)				6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年6月期の連結業績予想(平成23年7月1日～平成24年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,900	24.3	335	142.4	310	155.5	160	528.7	68.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年6月期3Q	2,347,000 株	23年6月期	2,347,000 株
② 期末自己株式数	24年6月期3Q	79 株	23年6月期	79 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年6月期3Q	2,346,921 株	23年6月期3Q	2,335,838 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（以下、当第3四半期）におけるわが国経済は、欧州の金融不安の後退により、円高の調整及び株価の持直しはあったものの、依然として円の水準は高く、原油高等による貿易赤字の拡大などの懸念材料も多く、海外の影響を受ける一方、国内においては、東日本大震災後の復興活動による持直しはあるものの、依然として原子力、電力の供給面での影響が懸念されるほか、政局の不安定さから景気は厳しい状況で、その先行きも不透明感が継続しております。

ソフトウェア・情報サービス産業におきましても、こうした事業環境を反映して企業のIT投資に対する慎重な姿勢が継続しており、特に会計分野のシステム投資は、各企業内で投資順位が劣化する傾向にあることや、IFRS（国際財務報告基準）の適用動向は流動的な状況であり、需要の見通しが困難であるなど、当社グループを取巻く環境も厳しい状況で推移しております。

このような状況の下、当社グループは、前期より継続して推進しております生産性の向上とコスト削減への取組みに加え、お客様のニーズを的確に把握し、それに応えていく方針を徹底する中で、① 新製品GEXSUSの活用による企業グループ内の会計基準の統一、② 管理連結・連結経営管理、③ 決算業務を一括して引受けるアウトソーシングなど業務領域における多様なソリューションの提供を通じた新たなビジネス機会の発掘や、パートナー企業との関係強化による販売チャネルの拡大を通じて受注獲得に努めてまいりました。

また、連結子会社である株式会社インターネットディスクロージャーは顧客層の拡大に成功し、平成23年8月に設立した株式会社ディーバ・ビジネス・イノベーションも大型案件を受注することができました。

この結果、当第3四半期の連結業績は、売上高2,942,648千円（前年同期比29.0%増）、営業利益322,706千円（前年同期比382.2%増）、経常利益298,474千円（前年同期比450.8%増）、当四半期純利益152,900千円（前年同期は22,767千円の損失）となり、前年同期に比べ大幅な増収増益となりました。

事業形態別の売上高の状況は以下のとおりです。

<ライセンス販売>

制度会計対応ソフトウェアパッケージ市場の成熟化に伴い、新規案件については案件数が伸び悩んでいる上に、競争激化を反映し、価格が低下傾向にあるものの、既存顧客向けはIFRS対応案件の受注による販売が拡大したこと等により、ライセンスの売上高は426,854千円（前年同期比24.8%増）となりました。

<コンサルティング・サービス>

グローバル経営管理やIFRS対応といった大型案件が増加していることに加え、当期に新規設立した株式会社ディーバ・ビジネス・イノベーションが順調に売上寄与していること等により、コンサルティング・サービスの売上高は1,213,256千円（前年同期比62.3%増）となりました。

<サポート・サービス>

新規顧客の開拓と既存顧客への追加販売により製品保守料は堅調に増加していることに加え、前期第3四半期より本格展開している決算業務アウトソーシングサービスが売上寄与していることもあり、サポート・サービスの売上高は1,141,170千円（前年同期比9.6%増加）となりました。

<情報検索サービス>

新規顧客の開拓と検索機能の拡張等による顧客基盤の安定・強化に努めた結果、情報検索サービスの売上高は161,366千円（前年同期比6.7%増）となりました。

なお、当第3四半期の受注及び販売の状況は、次のとおりとなっております。

① 受注状況

(単位:千円 [単位未満切捨て])

	前年同四半期		当第3四半期		増減	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
ライセンス販売	342,080	—	426,854	—	84,774	—
コンサルティング・サービス	622,952	231,978	1,253,686	444,533	630,734	212,554
サポート・サービス	881,205	420,596	1,037,643	493,897	156,438	73,300
情報検索サービス	136,282	32,091	146,427	30,025	10,144	△2,065
合計	1,982,521	684,666	2,864,612	968,456	882,091	283,790

② 販売実績

	前年同四半期	当第3四半期	増減	
	金額	金額	金額	増減率(%)
ライセンス販売	342,080	426,854	84,774	24.8
コンサルティング・サービス	747,552	1,213,256	465,703	62.3
サポート・サービス	1,040,790	1,141,170	100,380	9.6
情報検索サービス	151,303	161,366	10,063	6.7
合計	2,281,726	2,942,648	660,922	29.0

(注) 上記①、②の表の金額には、消費税等は含まれていません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期末の資産合計は、3,258,735千円（前連結会計年度末比422,294千円増加）となりました。これは主に、現金及び預金の増加217,770千円と受取手形及び売掛金の増加201,687千円により流動資産が502,358千円増加した一方、有形固定資産の減少39,163千円やソフトウェアの減少37,938千円等により固定資産が79,114千円減少したことによるものです。

負債合計は、1,764,013千円（前連結会計年度末比280,302千円増加）となりました。これは主に短期借入金の増加190,000千円、引当金の増加152,290千円、未払法人税等の増加145,499千円、未払金及び未払費用の減少49,798千円と前受収益の減少124,389千円などにより、流動負債が393,385千円増加した一方、社債の減少105,000千円等により固定負債が113,082千円減少したことによるものです。

また、純資産合計は1,494,721千円（前連結会計年度末比141,992千円増加）となりました。これは主に、四半期純利益152,900千円の計上と剰余金の配当11,734千円によるものです。自己資本比率は45.9%（前連結会計年度末は47.7%）であり、安定的な財務バランスを維持しているものと考えております。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ217,770千円増加し、1,761,987千円となりました。

当第3四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は161,381千円となりました。（前年同四半期は33,520千円の使用）

収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益298,474千円、引当金の増加額152,290千円、減価償却費106,444千円であり、支出の主な内訳は、売上債権の増加額201,586千円、前受収益の減少額124,389千円、未払金及び未払費用の減少額51,672千円等です。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は38,009千円となりました。（前年同四半期は176,088千円の使用）

支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出16,856千円、敷金及び保証金の差入による支出12,023千円です。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は93,036千円となりました。（前年同四半期は334,142千円の獲得）

収入の内訳は短期借入による収入290,000千円であり、支出の主な内訳は、短期借入の返済による支出100,000千円、社債の償還による支出45,000千円、ファイナンス・リース債務の返済による支出21,051千円、支払手数料の支出14,178千円等です。

内部留保は、売上増に伴う運転資金需要や投資活動を賄うには十分な水準であり、また取引金融機関とも円滑な関係を築いており、安定的な資金の調達・運用を行っております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期業績につきましては、平成23年12月19日に発表しました業績予想を変更しております。

これは主に、①新製品の投入や販売チャネルの拡大にともない、ライセンス販売及びサービス受注が増加したこと、②先行してIFRS（国際財務報告基準）の任意適用の準備を進めるお客様から、さらなる決算業務の効率化、連結情報管理の向上を目的とした大型受注を獲得できたこと、③厳しい事業環境の下、生産性の一層の向上と継続したコスト削減へ取組んで来たこと、の相乗効果により、当第3四半期の業績が期初の業績予想を大きく上回る結果となったことによります。

当社グループのお客様の多くが依然厳しい事業環境に直面されており、こうしたお客様のIT投資は引続き優先度に応じてなされ、必要最低限の水準に留まる可能性があります。従いまして、当社グループにとりまして予断を許さない状況は当面続くと予想されますが、過度に保守的にはならず、将来の成長の原動力となる新製品の開発や新規事業の創出に対しては、その費用対効果に留意しつつも、前向きに取組んでまいります。

※ 上記は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、第1四半期連結累計期間より、当社100%出資により新たに設立した株式会社ディーバ・ビジネス・イノベーション（特定子会社には該当しない）を連結範囲に含めております。これにより、連結子会社の数は従来の2社から3社となっております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,544,216	1,761,987
受取手形及び売掛金	521,729	723,417
仕掛品	100,351	148,641
原材料及び貯蔵品	9,500	7,250
その他	99,473	136,333
流動資産合計	2,275,271	2,777,630
固定資産		
有形固定資産	173,844	134,680
無形固定資産		
のれん	3,828	1,914
ソフトウェア	123,844	85,905
その他	778	703
無形固定資産合計	128,452	88,523
投資その他の資産		
敷金及び保証金	191,984	204,008
その他	61,299	49,253
投資その他の資産合計	253,283	253,261
固定資産合計	555,580	476,465
繰延資産		
社債発行費	5,588	4,639
繰延資産合計	5,588	4,639
資産合計	2,836,440	3,258,735
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	42,122	65,285
短期借入金	—	190,000
1年内償還予定の社債	80,000	140,000
1年内返済予定の長期借入金	5,000	—
未払金及び未払費用	201,828	152,029
未払法人税等	14,189	159,689
前受収益	674,508	550,119
賞与引当金	—	120,600
役員賞与引当金	—	31,363
受注損失引当金	5,043	5,370
その他	97,737	99,358
流動負債合計	1,120,430	1,513,815
固定負債		
社債	285,000	180,000
資産除去債務	67,220	67,705
その他	11,060	2,492
固定負債合計	363,280	250,197
負債合計	1,483,710	1,764,013

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	288,400	288,400
資本剰余金	225,200	225,200
利益剰余金	842,598	983,764
自己株式	△56	△56
株主資本合計	1,356,141	1,497,307
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△676	189
為替換算調整勘定	△2,735	△2,774
その他の包括利益累計額合計	△3,411	△2,585
純資産合計	1,352,729	1,494,721
負債純資産合計	2,836,440	3,258,735

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

第 3 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成22年 7 月 1 日 至 平成23年 3 月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成23年 7 月 1 日 至 平成24年 3 月31日)
売上高	2,281,726	2,942,648
売上原価	1,222,044	1,487,051
売上総利益	1,059,681	1,455,597
販売費及び一般管理費	992,761	1,132,890
営業利益	66,920	322,706
営業外収益		
受取利息	355	306
未払配当金除斥益	169	249
講演・原稿料収入	247	—
物品売却益	247	—
その他	14	—
営業外収益合計	1,034	555
営業外費用		
支払利息	4,264	4,961
支払手数料	7,760	17,039
その他	1,744	2,787
営業外費用合計	13,769	24,787
経常利益	54,185	298,474
特別利益		
保険解約戻戻金	18,451	—
特別利益合計	18,451	—
特別損失		
固定資産除却損	17,062	—
事務所移転費用	41,723	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	44,250	—
特別損失合計	103,036	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△30,398	298,474
法人税、住民税及び事業税	3,009	180,929
法人税等調整額	△10,641	△35,354
法人税等合計	△7,631	145,574
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△22,767	152,900
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△22,767	152,900

(四半期連結包括利益計算書)

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成23年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成24年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△22,767	152,900
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	△85	865
為替換算調整勘定	△611	△38
その他の包括利益合計	△697	826
四半期包括利益	△23,464	153,726
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△23,464	153,726
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成23年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成24年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△30,398	298,474
減価償却費	80,975	106,444
固定資産除却損	17,062	—
たな卸資産評価損	—	2,250
社債発行費償却	421	948
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	44,250	—
のれん償却額	1,914	1,914
引当金の増減額(△は減少)	△48,860	152,290
受取利息及び受取配当金	△355	△306
支払利息	4,264	4,961
支払手数料	7,760	17,039
移転費用	41,723	—
売上債権の増減額(△は増加)	8,451	△201,586
たな卸資産の増減額(△は増加)	34,520	△48,290
仕入債務の増減額(△は減少)	△8,790	23,163
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	67,618	△51,672
前受収益の増減額(△は減少)	△195,934	△124,389
その他	15,270	19,428
小計	39,893	200,670
利息及び配当金の受取額	355	306
利息の支払額	△3,231	△4,426
移転費用の支払額	△41,723	—
法人税等の支払額	△28,815	△35,168
営業活動によるキャッシュ・フロー	△33,520	161,381
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△90,346	△16,856
資産除去債務の履行による支出	△75,000	—
無形固定資産の取得による支出	△44,684	△9,129
投資有価証券の取得による支出	△10,000	—
保険積立金の解約による収入	48,483	—
敷金及び保証金の差入による支出	△152,575	△12,023
敷金及び保証金の回収による収入	148,339	—
その他	△305	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△176,088	△38,009
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	100,000	290,000
短期借入金の返済による支出	—	△100,000
長期借入金の返済による支出	△7,500	△5,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△37,925	△21,051
社債の発行による収入	293,673	—
社債の償還による支出	△15,000	△45,000
株式の発行による収入	3,962	—
支払手数料の支出	△3,010	△14,178
自己株式の取得による支出	△56	—
配当金の支払額	—	△11,734
財務活動によるキャッシュ・フロー	334,142	93,036
現金及び現金同等物に係る換算差額	△838	1,361
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	123,694	217,770
現金及び現金同等物の期首残高	1,280,272	1,544,216
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,403,967	1,761,987

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。